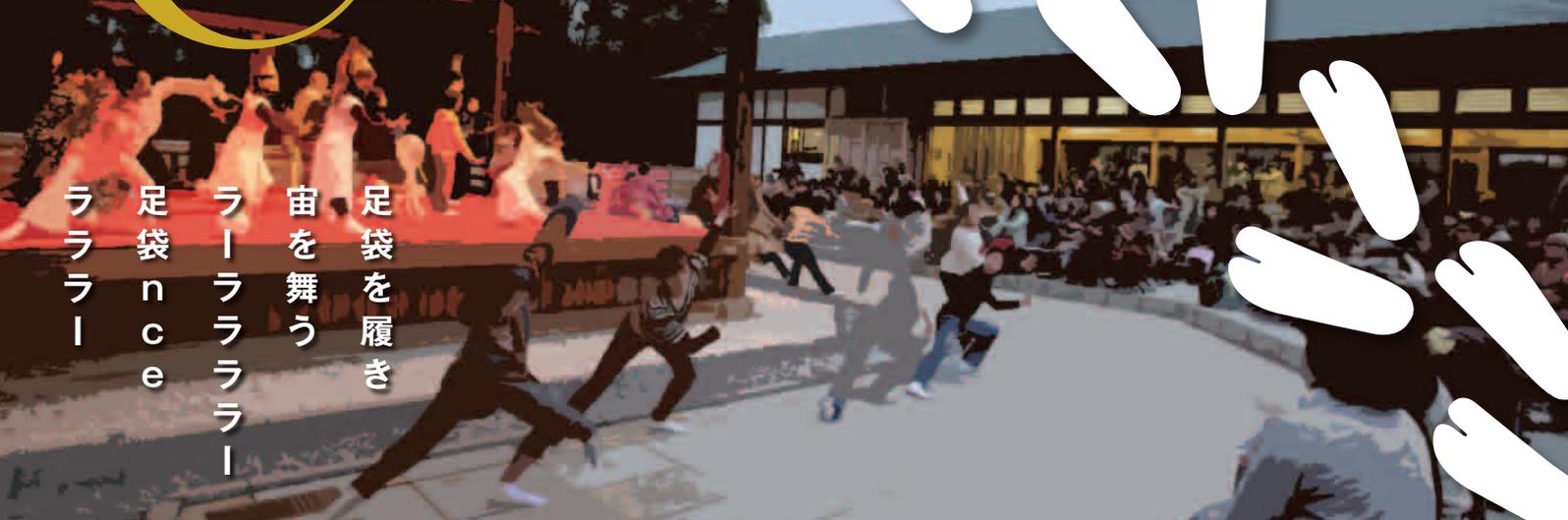


Tabince@Koshigaya Nogakudo

コレオグラファーの目 vol.12

足袋n@nce

2014.10.26^{SUN}



足袋を履き
宙を舞う
ラーララー
足袋n@nce
ラーララー

2014年 10月26日(日) 午後2時30分開演

会場:こしがや能楽堂
主催:埼玉県舞踊協会

入場料:無料/雨天決行

お問い合わせ:埼玉県舞踊協会 <http://www.saitamaken-buyoukyokai.jp/>
Tel.048-882-7530(月曜、木曜の10:00~3:30)

コレオグラファーの目

2006年から、埼玉県舞踊協会と埼玉県立近代美術館が協力して開催している、若手・中堅舞踊家たちのダンスパフォーマンス。「コレオグラファー」とは振付師のことで、「目」には(芽)と(視点)というふたつの意味を込めて名付けられた。前回に引き続きvol.12でも【こしがや能楽堂】という重厚な異空間に挑む。

こしがや能楽堂

〒343-0015 埼玉県越谷市花田6-6-1 Tel.048-964-8700

【交通】

- ①東武伊勢崎線 越谷駅西ロータリーより花田循環又は市立図書館行きバス、花田苑入り口下車徒歩3分
- ②東武伊勢崎線 新越谷駅/JR武蔵野線 南越谷駅北ロータリー花田行き又は市立図書館行きバス、花田苑入り口下車徒歩3分

【駐車場】

こしがや能楽堂・花田苑共同駐車場があります。(合計で104台) 駐輪場併設。

プログラム最後に、観客の皆さんと「足袋nce体操」<http://youtu.be/JYXhyg6NrQk>を踊ります。足袋ご持参の方は能舞台上で踊れます!

出演者プロフィール

愛智 伸江:(ダンサー・振付家)私は作品を創るとき、先にテーマが決まります。そうすると勝手に見合った曲や振りがくっついてくるし、いらぬものは削ぎ落とされていく。今回の作品は、あの暑い夏の日に出会った、あの二つの表情から生まれました。

江積 志織・藤井 公利子、上原 尚美に師事、彩のくに創作舞踊団所属。文化庁新進芸術家国内研修員。東京新聞主催全国舞踊コンクール創作舞踊部門2位、埼玉国際創作コンクール特別賞、横浜ソロメデュオCompetition+出場。

加藤 明志 / 水島 晃太郎:同じくぼの飯を食べ、同じくぼの空気を吸い、同じくぼの地で踊り、同じくぼの空を見て、同じサイズの足袋を履く。

漵川 真理子:若松美黄、津田郁子に師事。カンパニー公演等参加しながら自己の踊り、創作に励んでいる。他者の作品にも積極的に参加している。

上川原 雅子 / 青山 佳樹:能楽堂の舞台も、足袋で踊ることも初挑戦です。暖かい「目」で応援よろしくお願いします!

カワムラ アツノリ:よく、演劇の人ですか?と聞かれるので、ではあなたは演劇とダンスの違いを明確に説明できるのですか!?!と問い返すことにしています。

佐藤 優子:幼少より原島マヤにモダンバレエを師事。20歳を過ぎた頃から地道にコツコツ自作を発表。最近では芝居中のダンサー、はたまた役者として出演するなど多岐にわたり活動中。ひゆるりひやらりと踊ったり踊らされたり踊らせたりしています。

中村 直香:家事育児家事育児家事育児見ダンス。2013オペラディファミーユ公演「天国と地獄」振付、出演。

藤井 香:毎度、崖っぷちに立たされるのにもかかわらず、その創作過程が好きだ—— 彩のくに創作舞踊団主宰、SMF運営委員、埼玉県舞踊協会では「コレオグラファーの目」を企画運営している。

細川 麻実子:三味線 / 石橋拓道 10代で三味線と出会い、19歳で最年少にして高橋流名取り「高橋李祐麗」襲名。その後、流派の型にハマらずストリート、ライブハウス、ホール、海外などで活躍中。踊り / 細川麻実子 舞踊歴30年。幼児から高齢者まで踊りを通して触れ合っている。